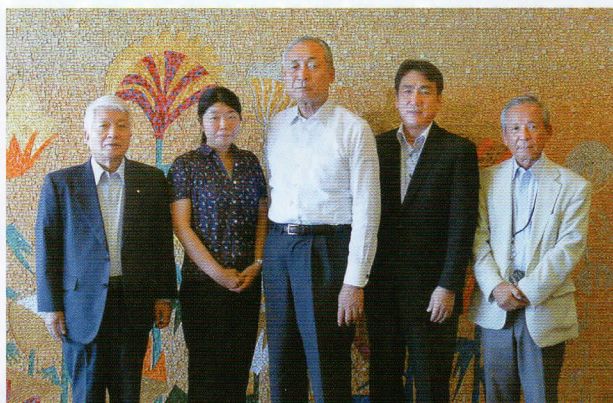




第21期留学生(帰国)  
大野 陽子さん

「きっと色々な文化、宗教、考えを持つ人が集まるに違いない、ルームメイトと気が合わなかったらどうしよう、言葉が通じなかったらどうしよう、食事は一緒に食べるのかな、相部屋でしっかり勉強に集中できるかな・・・」実は出発前は勉強のことよりもルームメイトのことで不安がいっぱいだったのを覚えています。



藤代市長を表敬訪問した大野さんと田村会長及び嘉規・中谷 文化交流委員会役員

船橋市は海外の三カ国三都市と姉妹・友好都市を提携しており、その歴史は25年にもなります。その記念すべき節目の年に、私は第21期留学生としてアメリカの中でも多民族・多文化が集まるサンフランシスコの対岸にある都市、ハイワードにある大学に通えることになったのです。

しかしいざ入寮すると、そんな心配が一掃されるほど素敵なルームメイトに恵まれ、最高の9か月間を過ごすことができました。イラク、フィンランド、アメリカ、台湾、フィリピン、メキシコなど、本当に多様な背景を持つ人々と暮らし、勉強することができました。

「内向き志向」と言われる昨今の日本ですが、一歩踏み出して得たものは何にも替えがたいものでした。ぜひ多くの方に一歩踏み出す気持ちを持ち、国際交流をしてほしいと思います。私も頑張ります。



留学中に韓国料理店でルームメイトと食事した時の写真(左側から二番目)

## にほんごきょうしつしょうかい 日本語教室紹介シリーズ

日本語教室訪問第3弾として、学習者数も70名余、支援者20名余と規模の大きい先進的教室である中央公民館教室を訪問した。



さまざまな国籍を持つ30～40名の学習者達が日本語習得にいそんでいる様子を垣間見て、協会の本旨とする多文化交流と我々市民との円滑な共生の造成に向けた草の根的活動が着々と地道にかつ鋭意行われていると感じた。

我々の風習と日本語を習得した学習者達が基軸となつて、国際交流の輪が更に広がることを期待したい。

日本語教室は4部屋を使い、極力少人数単位で行われており、特に入門段階では支援者一人に数名の

## No3. 中央公民館

(火曜日9:45～11:45)

学習者の編成で基礎を満遍なく指導している。

真剣な眼差しで学習する学習者達の態度には感銘を受けたし、各支援者を横断的に繋いで、落ちこぼれの学習者が出ないように奔走する支援者のリーダーが核と成つて鋭意学習者達の熱意に応えようとする支援スタッフの真摯な対処にも感銘を受けた。

ある上級クラスの支援者は教材の文面に登場する「置」という日本固有の生活様式に密着した用語を理解させる為に5～6冊の日本の風俗様式を絵図化した教材を周到に用意して、日本文化の生活様式をわからせたいと熱い想いを語ってくれたのも印象深かった。

広報委員 石原

